



今回は、小中学校で行った授業アシスタントの実践報告です。

日 時： 2018年6月12日(火) 参加者： 2年生希望者32名

ご協力いただいた学校と参加人数：

旭ヶ丘中学校8名、桜ヶ丘中学校3名、緑ヶ丘中学校9名、下有知中学校3名、
桜ヶ丘小学校5名(以上関市内)、美濃中学校4名(美濃市内)

◇ 地域の小中学校で、子どもたちと交流！

2年生希望者 32名が近隣の小中学校へ。中濃地区から教員になる人が減っていることを危惧した学校長が、「少しでも教職に興味を持ってもらえる取り組みができないか？」と発案。「母校に出向いて、授業をしている中学校の先生のアシスタントをしてみないか」と募集したところ、多数の生徒が名乗りを上げてくれました。

当日、小中学校の先生方にも快く受け入れていただき、児童・生徒の皆さんとも楽しく交流できました。ありがとうございました。

◇ SDGs 住みよいまちづくりのために、質の高い公教育を。



関高 SGH 課題研究では、国連の SDGs を基準にし、テーマを設定を行っています。Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の 17 の目標の中には、質の高い公教育の充実や、持続可能なまちづくりも掲げられています。

◇ 参加した生徒の感想

- ・教えるということはすごく難しいことだと思いました。でも中学校の子とたくさん交流ができて楽しかったです。
- ・中学生がとてもかわいくて楽しかったです。数学を教える中で教えることの難しさが分かり、とてもいい経験になりました。ぜひ、また行きたいです。
- ・久しぶりの母校は非常に新鮮に感じられ、自分のことを覚えていてくれる生徒がいてとても嬉しかった。また、知り合いの先生方にも会えて本当にあっという間の楽しい時間でした。
- ・最初は教えられるか不安だったけど、質問にしっかり答えることができたので良かったです。実際自分が先生の立場に立ってみると中学のときは分からなかった先生の苦労も分かったり、楽しさを知ったりできました。
- ・自分が小学生のときは感じることはできなかった先生方の生徒への暖かい愛が、こんなに存在することを知った。嫌なことは本当に1つもなかった。生徒のみんなも素直だったから私たちもスムーズに対応できた。
- ・先生のすごさが分かりました。私は「分からなかったどうしよう。質問に正しく答えら

れるかな？」と不安でいっぱいでしたが、先生は迷うことなく丁寧に教えていました。これは自信とたくさんの知識、思いやりがないとできないと思います。だから、先生って偉大だなって、自分が先生という立場になってみて分かりました。自分の母校に行けて良かったです。私たちが受け継いだ伝統、新しくつくってきた伝統、そういう母校の様子が見れたので嬉しかった。誇らしかったです。

